

平成 18 年 5 月 15 日

## 地域密着型金融推進計画の進捗状況について

### 1. お客様へ

鹿沼相互信用金庫は昨年 10 月 27 日をもちまして「創立 80 周年」を迎えることができました。この間、昭和初期の金融恐慌、第二次世界大戦、オイルショック、バブル経済の崩壊等の試練がありましたが、お客様の暖かいご支援、ご指導のお陰で乗り越えることができました。今後も、経営理念であります「地元の繁栄なくして金庫の発展はない」を念頭に、「地域密着型金融」に継続して取り組み、地域の皆様、地域の中小企業の皆様に対し、地域金融機関としての社会的責任を果たしてまいりたいと思います。

平成 17 年 3 月、金融庁の「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき、「地域密着型金融推進計画」の進捗状況（17 年 4 月～18 年 3 月）を下記のとおり公表いたします。

### 2. アクションプログラムへの取り組み状況

項目	進捗状況
事業再生・中小企業金融の円滑化	(1) 政府系金融機関、官公庁、産学官と連携し創業資金支援、ビジネスマッチング、新規事業の育成支援、取引先への経営支援、事業再生に取り組むとともに、研修会等を通して人材の育成を図っています。 (2) 経営改善支援先 (38 社) に対しアンケート調査を実施するとともにコンサルティング機能を活用し、6 社をランクアップしました。 (3) 無担保資金（力、地域支援）、売掛債権担保融資等の融資商品に取り組みました。 (4) 顧客への説明態勢の整備、ローンレビュー（融資後の業況把握）、財務制限条項の活用等に取り組みました。 (5) お客様からの苦情に対しては迅速に取り組むとともに、研修会等により再発防止に努めています。
経営力の強化	(1) 新信用格付けシステムの導入に取り組んでいます。 (2) リスクに応じたプライシング（融資金利設定）の定着を推進しています。 (3) 法令等遵守態勢については、自店監査、監査部監査を

	<p>実施し各態勢の検証を実施し、不備事項についてはコンプライアンス委員会に報告し厳正に取り組んでいます。</p> <p>(4) 適切な顧客情報の管理・取扱のため、研修会等を実施するとともに、態勢の強化（鍵管理機、カード管理機、ファイルサーバー導入等）を図りました。</p>
地域の利用者の利便性向上	<p>(1) ディスクローズ誌に金融活動を分かりやすく開示しました。</p> <p>(2) 利用者満足度アンケート調査を実施（1,170 先）し、その結果を公表するとともに、寄せられた意見・要望に回答し、経営方針（事業計画）への反映、業務改善等に取り組んでいます。</p>

### 3. 経営計画（計数）の状況

目標項目	19年3月末目標計数	18年3月末計数
預金残高	1,800億円	1,759億円
融資残高	900億円	889億円
不良債権比率	9%台	10.91%
自己資本比率	7%台	7.04%
繰延税金資産比率	15%以内	14.28%

以上